

対象国の条件:

研修コース番号:(A)J1804385/(B)J1804347/(C)J1804231/(D)J1804348

案件番号:(A)1884790/(B)1884791/(C)1884792/(D)1884804

主分野課題:環境管理/水質汚濁

副分野課題:

使用言語:#NAME?

**案件概要**

研修実施場所の地方自治体の協力の下、日本における下水道事業を概観し、経営を含む計画・維持管理について扱う。都市向けの大規模処理が中心となるが、中～小規模集落向けの下水設備についても紹介する。

**目標/成果**

【案件目標】  
下水道システムの改善及び維持管理対策が策定される。

- 【成果】
1. 日本における下水道関連法及び地方自治体での下水道及び関連分野の施策と事例について理解が深まる。
  2. 下水道システム（管路、施設）の計画・設計に必要な基礎技術および各処理方法の特色について説明できる。
  3. 下水道システム（管路、施設）の維持管理に必要な基礎技術を説明できる。
  4. 下水道経営の考え方・広報活動について、事例を説明できる。
  5. 事業場排水処理規制の概要と事例について説明できる。
  6. 研修で得た知識を踏まえたアクションプランが策定され、所属組織に提案される。

**対象組織/人材**

- 【対象組織】  
下水道事業に関わる行政関連組織
- 【対象人材】
1. 下水道管理業務に従事している上級技術者
  2. 当該分野の職務経験が、5年以上の実務経験

**内容**

- 以下の内容について講義・視察・実習・討論・発表を行う。
1. 下水道法、下水道普及の歴史、公害対策、自治体における防災を含む下水道河川事業・上水道事業概要
  2. 下水道計画、下水道管路・管渠・施設の計画・設計、各種下水処理方法、小規模下水道事業概要、汚泥処理
  3. 下水道管路・管渠、処理場、ポンプ場の維持管理
  4. 自治体による下水道経営・広報活動
  5. 自治体による事業場排水規制、企業の排水処理
  6. アクションプラン作成・発表、ファイナルレポート作成・提出

**本邦研修期間**

- (A) 2018/8～2018/9
- (B) 2019/1～2019/3
- (C) 2018/8～2018/10
- (D) 2018/10～2018/11

**担当課題部**

地球環境部

**所管国内機関**

- (A) JICA九州
- (B) JICA九州
- (C) JICA関西
- (D) JICA九州

**関係省庁**

**実施年度**

2017～2019

**主要協力機関**

(A) 福岡市道路下水道局/(B) 公益財団法人北九州国際技術協力協会(KITA)/(C) 大阪市建設局/(D) 公益財団法人北九州国際技術協力協会(KITA)

**特記事項  
及び  
ホームページ**